

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月12日

上場会社名 株式会社エクストリーム 上場取引所 東
 コード番号 6033 URL http://www.e-extreme.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 佐藤 昌平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 由佐 秀一郎 (TEL) 03-6673-8535
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,760	46.6	94	△31.0	96	△26.2	63	△23.4
27年3月期第3四半期	1,200	—	137	—	130	—	82	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第3四半期	53.83		49.33					
27年3月期第3四半期	92.82		80.91					

- (注) 1. 当社は、平成26年12月25日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、平成27年3月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から平成27年3月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
 2. 当社は、平成26年10月15日付で普通株式1株を200株に株式分割しておりますが、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,161	766	66.0
27年3月期	1,162	739	63.6

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 766百万円 27年3月期 739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	32.0	200	8.2	185	5.4	117	7.5	100.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期3Q	1,173,100株	27年3月期	1,166,500株
28年3月期3Q	45株	27年3月期	—株
28年3月期3Q	1,171,252株	27年3月期3Q	886,273株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策を背景に、雇用・所得環境の改善傾向が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国経済をはじめとした海外景気の下振れ懸念等から先行きは依然不透明な状況となっております。

このような環境下、当社を取り巻くエンターテインメント系ソフトウェア業界におきましては、スマートフォンの普及が本格化し、拡大傾向が続いております。また、スマートフォンにおけるゲーム市場は、平成28年度には8,000億円規模（出所：CyberZ/シード・プランニング共同調べ）まで成長すると予想されており、今後も同環境は大きく成長していくことが予想されます。

このような状況下、当社はゲームを中心としたエンターテインメント系企業へ向けた人材ソリューション事業及び、パソコン・モバイル・家庭用ゲーム機器向けゲームコンテンツの企画・開発・運営を行うコンテンツプロパティ事業を引き続き積極的に展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,760,784千円（前年同四半期比46.6%増）、営業利益は94,540千円（前年同四半期比31.0%減）、経常利益は96,035千円（前年同四半期比26.2%減）、四半期純利益は63,045千円（前年同四半期比23.4%減）となりました。

次に事業別状況について説明いたします。

<ソリューション事業>

ソリューション事業は、人材ソリューションサービス及び受託開発サービスの2種で構成されますが、両事業とも主にスマートフォンアプリ、家庭用ゲーム、遊戯機器などのエンターテインメント系企業及び金融、WEBサービス業などの企業に対し、プログラミング・グラフィック制作などのスキルを持った当社社員（クリエイター&エンジニア）が直接顧客企業に常駐し、開発業務を行っております。中でも、スマートフォンを中心とした開発案件は昨今需要が旺盛であり、これに対応するため、第1四半期において営業体制の強化を図り、更なる収益機会の獲得に努めました。

また、クリエイター&エンジニアの安定的な確保を図るために、自社養成に積極的に取り組み、クリエイター&エンジニアの自社養成プログラム『プロジェクトNSCA（ナスカ）』を継続し、経験者採用に留まらない技術社員の確保に引き続き努めました。

この結果、当第3四半期累計期間における稼働プロジェクト数は2,435となり、前第3四半期累計期間における1,849プロジェクトから586プロジェクト増加し、当第3四半期累計期間における売上高は1,438,709千円（前年同四半期比38.8%増）、セグメント利益は332,211千円（前年同四半期比32.5%増）となりました。

<コンテンツプロパティ事業>

コンテンツプロパティ事業は、ゲームサービス、ライセンスサービス、協業開発サービスの3種で構成されますが、当第3四半期累計期間においては、前四半期同様、主にゲームサービスに力を入れてまいりました。

ゲームサービスにおいては、既存タイトルである「桃色大戦ばいろん・ぷらす」(PCオンラインゲーム)、「桃色大戦ばいろん・生」(PCブラウザゲーム)、「つみにん〜うみにん大サーカス」(スマートフォンアプリ)を運営してまいりました。

「桃色大戦ばいろん・ぷらす」については、平成27年12月21日をもってサービス終了とし、マシンスペックに左右されず、ゲームシステムの機能強化を継続的に行っている「桃色大戦ばいろん・生」へのサービス移管を行い、「桃色大戦ばいろん・ぷらす」ユーザーの登録情報及び保有データの引き継ぎサービスを行いました。

ライセンスサービスについては、任天堂3DS向け家庭用ゲーム「ラングリッサー リインカーネーションー転生一」において、米国Aksys Games Localization, Incとライセンス許諾契約を締結し、全世界での販売権をAksys Games Localization, Incへ許諾するとともに、海外バージョンのローカライズ（翻訳）開発業務を当社が受注し、当第3四半期において納品いたしました。また、当社保有IPである「ラングリッサー」シリーズをスマートフォンアプリ向けに中国天津紫龍奇点互動娛樂有限公司（許諾地域は、中国本土、香港・台湾・マカオ・韓国・タイ・ベトナム・インドネシア・マレーシア・シンガポール・アメリカ・カナダ）へライセンス許諾いたしました。

協業開発サービスについては、新規プロジェクトを2タイトル受注し、売上形成に貢献いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は322,074千円（前年同四半期比96.1%増）、セグメント損失は

35,077千円（前年同四半期はセグメント利益16,782千円）となりました。ライセンスサービスについては利益を確保いたしましたが、ゲームサービスにおいて「桃色大戦ばいろん」シリーズ統合による一時的な売上高の減少、協業開発サービスにおいて大手ゲームパブリッシャーより継続受注中であったブラウザゲーム開発案件が急遽中止となったことから、セグメント損失が発生いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産・負債・純資産の状況

(総資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、売上高増加に伴う売掛金の増加102,005千円、投資有価証券の増加125,915千円があったものの、現金及び預金の減少216,113千円などにより、1,161,407千円となり、前事業年度比1,583千円の減少（前事業年度比0.1%減）となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、未払金の増加22,058千円、未払法人税等の減少75,919千円などにより、394,560千円となり、前事業年度比28,545千円の減少（前事業年度比6.7%減）となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、利益剰余金における配当金の支払に伴う減少34,995千円、四半期純利益の計上に伴う増加63,045千円などにより、766,846千円となり、前事業年度比26,962千円の増加（前事業年度比3.6%増）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月14日の「平成27年3月期決算短信[日本基準]（非連結）」発表時の業績予想から変更しておりません。なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	688,594	472,480
売掛金	199,224	301,230
有価証券	10,018	—
製品	538	—
仕掛品	14,243	10,298
その他	34,375	39,045
貸倒引当金	△1,878	△2,840
流動資産合計	945,116	820,213
固定資産		
有形固定資産	14,517	24,499
無形固定資産	22,252	6,958
投資その他の資産		
投資有価証券	140,920	266,836
その他	44,087	47,444
貸倒引当金	△3,902	△4,545
投資その他の資産合計	181,105	309,735
固定資産合計	217,874	341,194
資産合計	1,162,991	1,161,407
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	7,450
1年内償還予定の社債	7,000	7,000
1年内返済予定の長期借入金	10,080	10,080
未払金	161,882	183,940
未払法人税等	79,789	3,870
賞与引当金	22,279	17,088
その他	81,415	114,691
流動負債合計	362,446	344,120
固定負債		
社債	32,500	29,000
長期借入金	28,160	21,440
固定負債合計	60,660	50,440
負債合計	423,106	394,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	276,046	278,026
資本剰余金	274,754	276,734
利益剰余金	189,267	217,317
自己株式	—	△173
株主資本合計	740,068	771,905
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△183	△5,058
評価・換算差額等合計	△183	△5,058
純資産合計	739,884	766,846
負債純資産合計	1,162,991	1,161,407

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,200,941	1,760,784
売上原価	795,971	1,227,864
売上総利益	404,969	532,919
販売費及び一般管理費	267,881	438,378
営業利益	137,088	94,540
営業外収益		
受取利息	123	1,535
為替差益	4,814	—
助成金収入	1,710	487
投資有価証券売却益	—	620
その他	747	442
営業外収益合計	7,395	3,085
営業外費用		
支払利息	1,257	387
支払手数料	—	897
株式公開費用	9,005	—
株式交付費	3,661	—
その他	482	305
営業外費用合計	14,406	1,590
経常利益	130,077	96,035
税引前四半期純利益	130,077	96,035
法人税等	47,816	32,990
四半期純利益	82,260	63,045

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	ソリューション 事業	コンテンツ プロパティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,036,702	164,239	1,200,941	—	1,200,941
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,036,702	164,239	1,200,941	—	1,200,941
セグメント利益	250,658	16,782	267,441	△130,352	137,088

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	ソリューション 事業	コンテンツ プロパティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,438,709	322,074	1,760,784	—	1,760,784
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,438,709	322,074	1,760,784	—	1,760,784
セグメント利益	332,211	△35,077	297,134	△202,593	94,540

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。